

熊本中央病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用をさせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	ウェアラブル・バイタルセンサー:e-Bloodの有用性と精度向上を目的とした実証実験
研究責任者	腎臓内科部長 野村 和史
本研究の目的・意義	近年少子高齢化に伴う人口の減少と労働力の減少が問題視されている。医療業界においても、人手不足が進んでおり、労働力の減少が懸念されている。また、人材に関しても離職率が高い業種に分類され、医療人材の確保に難渋することが想定されている。人口と労働力の減少に対して、医療DX化を国も推進しており、従来の環境を改善する措置が各医療機関で検討されている。当院でも医療従事者の負担軽減への取り組みとして様々な支援機器の導入が検討されている。ウェアラブル・バイタルセンサー:e-Blood (POPCHAT社製)は、光学式センサーを用いて、非侵襲的に心拍・体温・血中酸素濃度・心拍変動・睡眠・血糖値・血圧・呼吸に関するバイタルサインデータを自動的に測定することができるデバイスである。また、患者の位置情報を取得し徘徊検知・院内検索等にも活用できるデバイスである。e-Bloodを活用することで、バイタルサインチェックの業務負担を軽減し、医療従事者の業務を削減できると考えられる。一つのデバイスから得られる情報量が多く、簡易的・連続的に測定できることから医療DX化に有用なデバイスであり、実証実験に参加することでe-Bloodの有用性と精度向上に関与すると共に医療従事者の医療DXへの関心も高めていきたいと考えている。
研究予定期間	2024年8月1日～2024年10月31日
該当資料・データ	対象となる患者さま:2024年8月1日～2024年10月31日に当院外来通院中の透析患者及び当院にて入院透析を実施する患者。
個人情報の取扱い	診療録から得られたデータから、氏名、生年月日、手術日など個人情報を識別可能な症状を削除し、個人情報とは無関係の番号をつけ、研究機関毎に連結可能匿名化を行います。個人識別情報と付加番号の対応表は研究機関毎に作成し、各機関の個人情報管理者が厳重に管理し、共同研究機関並びに解析担当者には渡しません。データ解析の際は、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会、誌上に公開する際も個人を特定できる形では公表しません。
共同研究機関	POPCHAT株式会社
本研究の資金源	本研究は、POPCHAT株式会社より研究機材の提供を受けて実施いたしますが、利益相反マネジメントを適正に行っています。研究の実施や報告の際に、POPCHAT株式会社に都合のよい成績となるよう意図的に導いたりすることはありません。尚、あなたへの謝金はございません。
お問い合わせ先	電話:096-370-3111(代表) 担当者:田島 陽介(臨床工学科)